



被災地の妊産婦さんとみなさんをつなぐ  
**東北こそだてレター (被災地の今...)**

2014/10/21 配信 vol.26

～こそだてシップの提言「ママ安心プロジェクト!!復興後では遅すぎる」から考える、今取り組むべき社会的問題～

◆ **支援実績** (2014/9/30 現在)

<支援母子数>

- ・2014年9月計 874組
- ・プロジェクト開始より累計 17,436組 (2012/7～2014/9)

<活動場所>

- ・岩手 (大船渡、陸前高田、花巻、釜石、大槌、遠野、宮古、久慈)
- ・宮城 (石巻、東松島、女川、気仙沼、亶理、名取、仙台)
- ・福島 (いわき、相馬、南相馬)
- ・福島 (伊達、二本松、須賀川、白河、郡山、猪苗代町)
- ・新潟 (長岡)
- ・埼玉 (川越)・神奈川 (横浜)・東京 (中野)

<活動内容>

育児相談会／茶話会／ベビーマッサージ／ベビ体操／ママのリフレッシュ体操／親子ピクス／仮設巡回訪問

みなさま、こんにちは。 一般社団法人ジェスペールです。

御嶽山噴火、相次ぐ台風の日本直撃など自然災害の多い1カ月でした。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。皆さまは被害に遭われなかったでしょうか。

さて、今回はこそだてシップが自民党政策プレゼンコンテストの岩手県大会に出た様子をご紹介します。

子どもを安心して産み育てられる社会には何が必要なのか、妊娠中の女性が力を込めて語る様子をどうぞご覧ください。

被災地での「これから」と「今」、そして「未来」。どうぞ最後まで、ご覧ください。

◆ **【こそだてシップ】自民党岩手県コンテストにて「最優秀賞」を受賞!**

前回のメルマガで、こそだてシップの伊藤代表が参加表明していた、自民党政策プレゼンコンテストで、こそだてシップが見事「最優秀賞」を受賞し、岩手県代表として自民党本部で審査されることになりました。今回は、その様子を、伊藤代表にまとめていただきました。

\*\*\*\*\*

この夏、私は当団体の若人たちと嬉しい時間を共有することができました。何故なら8月31日、自民党岩手県連・青年局主催政策プレゼンコンテストで、こそだてシップが「最優秀賞」を受賞したからです。

◆◆ **事の初め**

事の初めは、当団体事務局に一人熱き若者がいたことからです。

「夢と希望あふれる日本へわたしが描く処方箋・あなたも自民党に直接提言しよう!」という長～いテーマと、岩手県在住又は出身者で45歳以下、という参加条件に魅了され応募を決めました。

そして3人の事務局同志と共に、数か月間、多忙な時間をやりくりしながら頑張りました。



## ◇◆当日・発表前

プレゼンテーション当日。場所は盛岡です。発表者は、サロン運営などで事務局の中心になっているママさん。妊娠中なので案じられ、救護担当ということで助産師の私が付き添いました。

会場のホテルに到着すると玄関前には、役員らしき若者が三々五々。はるか昔の若者だった私は、「入場できるの？」と心配しつつ、さり気なく入場し着席です。

開会されると、主催者挨拶、審査員紹介（県議員、市議員、自民党役員などの名士の方々）、開催要項の説明と続きました。

採点は100点満点で、①独創性、②必要性と具体性、③テーマとの整合性、④プレゼンカ、の審査であること、発表時間は10分で超過は減点とのこと。

発表順位はくじ引きで4番、と割といい線で発表が始まりました。

先行の3組が終了。皆さん少々上がり気味です。どれも直ぐにでも岩手県で実現して頂きたいような素晴らしい提言、と思われましたが、内容が畑違いの分野で時間も短く、聞いて十分理解できたとは言い難い内容でした。



## ◇◆発表「ママ安心プロジェクト！！復興後では遅すぎる」

こそだてシップの政策名称は「ママ安心プロジェクト！！復興後では遅すぎる」。

政策ターゲットは「妊婦～産後8週間までの母子及びその家族」と実に分かり易い演題です。ステージに立つ発表者もパワーポイント担当者も、鮮やかなオレンジ色のこそだてシップのエプロンをつけ、アピール度満点です。

提言内容は2つ、「出産に係る費用への公的保険の適用」と「産後ケアハウスの設置」です。日本のどこでも子どもを安心して生み育てられるような経済的負担の解消と、育児はお産直後のサポートが鍵であるという、今まさに取り組むべき社会的問題への提言です。

出産を巡る経済的な地域格差・育児困難・虐待の背景など、発表者の妊婦さん直々からの提言は、会場にかなりのインパクトを与えたのではないのでしょうか。それに加え彼女は、日頃、日本各地の民謡で鍛えている素晴らしい美声の持ち主。近頃、難聴気味の私にも声が明瞭に響き、最高のプレゼンでした。

## ◇◆発表

発表が終了し審査結果の待ち時間に、名士お二人がいらして、「頑張ってください」とのエール。お二人との会話から直感的に、もしかしたら、もしかするかも…

と期待が膨らみました。

そしていよいよ発表。「最優秀賞は、NPO法人こそだてシップ！」とのアナウンス。一応周りに配慮して、3人とも言葉少なに、気持ち抑え気味に喜び合った次第です。

提言はこの後、党本部で全国からの発表DVD審査が行われ、選考された県代表のみが、秋ごろ、自民党本部での公開プレゼンテーションに参加出来ます。そこでの優勝者には、大臣との面会が待っているとのこと。

是非そこまでの幸運に乗りたいところですが、11月上旬あたりは発表者が臨月で、叶うものならお腹の赤ちゃんに、何日にお生まれになる？とお聞きしたい位です。

今はピンチヒッターを考えながら、選考結果も、安産も、ひたすら待つのみという事態になっております。頑張ったメンバーの皆さん、お疲れ様でした！

NPO法人こそだてシップ代表 伊藤怜子

<http://kosodateship.org/>



◆ 厚生労働大臣から【東日本大震災被災者支援感謝状】を受賞しました

厚生労働大臣から【東日本大震災被災者支援感謝状】を2014年3月11日付けで受賞いたしました。

この賞状が、4月24日に届きました。地道に活動して来た成果を国からも認めて頂く事ができ、スタッフ一同とても嬉しく思っております。

現地はまだまだ状況は変わっていません。これからも、被災地の状況を、また被災地で支援活動を行っている助産師達の活動を支援して行きます。皆様のご協力を引き続きお願いいたします。



発行者：一般社団法人ジェスペール

公式ホームページ：<http://tohokumama.org/>

Twitter：<https://twitter.com/tohokumama>

お問い合わせ先：[info@tohokumama.org](mailto:info@tohokumama.org)

Facebook：<http://www.facebook.com/tohokumama>

